

安全データシート作成日 1994年07月01日
改訂日 2014年05月01日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : 塩化アルミニウム(六水和物)
整理番号 : HS202
会社名 : 北海道曹達株式会社
住所 : 北海道登別市千歳町2丁目12番地
電話番号 : 0143-85-2411
FAX番号 : 0143-85-2507

2. 危険有害性の要約

人の健康に対する有害性 : 眼や皮膚につくと炎症を起こすことがある。
又、飲み込むと有害である。
環境への影響 : 水生生物に非常に強い毒性を示す。
物理的及び化学的危険性 : 水に溶解させた時は、酸性となり金属を腐食する。
特有の危険有害性 : 特になし
GHS分類
物理化学的危険性
引火性液体 : 分類対象外
自然発火性液体 : 分類対象外
健康に対する有害性
急性毒性(経口) : 区分5
急性毒性(経皮) : 分類できない
急性毒性(吸引・ガス) : 分類対象外
急性毒性(吸引・ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性・刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 分類できない
呼吸器感受性と皮膚感受性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回曝露) : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復曝露) : 分類できない
吸引呼吸器有害性 : 分類できない
環境に対する有害性
水生環境急性有害性 : 区分1
水生環境慢性有害性 : 区分1
絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ(経口)。
皮膚刺激。
水生生物に非常に強い毒性。

注意書き
予防策 : 使用前に本紙の安全注意事項を読み取り扱う事。
保護手袋を着用すること。
取り扱った後、手、顔などをよく洗うこと。
環境への放出を避けること。

対応	:皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。 気分が悪い時は、医師の診断を受けること。 皮膚刺激があれば、医師の診断を受けること。 汚染された衣類を再使用する場合は、洗濯をすること。
保管	:紙袋を密封して、直射日光を避け、換気の良い涼しい所に保管する。 上からの異物の落下や荷崩れのないようにする。
廃棄	:内容物又は紙袋を廃棄する場合には、都道府県の規則に従うこと。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	:単一製品
化学名又は一般名	:塩化アルミニウム六水和物
別名	:トリクロロアルミニウム・六水和物
化学式(化学特性)	: $\text{AlCl}_3 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$
含有量	:97.0%以上
化審法番号	:1-12
安衛法番号	:1-12
CAS番号	:7784-13-6

4. 応急措置

吸入した場合	:被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸し易い姿勢で休息させる。 直ちに医師に連絡し、診断を受ける。
皮膚に付着した場合	:直ちに汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。 多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受ける。
目に入った場合	:直ちに大量の水道水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	:口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	:不燃性。
特有の危険有害性	:火災によって結晶水が飛ぶと分解し刺激性、腐食性又は毒性のガスの発生するおそれがある。 水と激しく反応して大量の熱を発生し、空気中のヒュームの濃度を増大させるおそれがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	:移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 紙袋内に水を入れてはいけない。 移動が不可能な場合は、紙袋及び周囲に散水して冷却と蒸気温度を低下させる。 消火後も、大量の水を用いて十分に紙袋を冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	:作業の際は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスを吸入しないようにする。 密閉された場所に入る前に換気する。 直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 漏洩しても火災が発生していない場合は、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 風上に留まり、低地から離れる。
--------------------------	---

環境に対する注意事項	: 環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。 環境中に放出してはならない。
回収、中和	: 少量の場合; 発熱、有毒ガスの発生に注意して、大量の水で洗い流す。 : 大量の場合; 乾燥した容器に回収して、速やかに業者に処理を委託する。
二次災害の防止	: すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止) 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 保護具を着用し取り扱う。
局所排気・全体換気	: 局所排気、全体換気を行なう。
注意事項	: 皮膚、眼等への接触を避ける。
安全取扱注意事項	: 眼、皮膚、衣服と接触を避ける。 飲み込みを避けること。 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 屋外または換気の良い区域でのみ使用する。 取扱後はよく手を洗うこと。
保管	
保管条件	: 紙袋は密封して、換気の良い涼しい場所に保管する。 上からの落下や荷崩れのないようにする。
容器包装材料	: 国連輸送法規で想定されている紙袋を使用する。

8. 曝露防止及び保護措置

設備対策	: 気中濃度を推奨された許容濃度以下に保つ為に、工程の密閉化、局所排気。その他の設備対策を施す。 貯蔵ないし取扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設ける。		
管理濃度	: 未設定		
許容濃度	日本産業衛生学会	(2005年度版)	: 未設定
	ACGIH	(2005年度版)	: TLV-TWA 2mg/m ³ (Alとして)
保護具			
呼吸器の保護具	: 呼吸用保護具を着用すること。		
手の保護具	: ゴム手袋		
目の保護具	: ゴーグル型		
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣、保護靴		

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	: 潮解性の結晶
形状	: 白色の結晶
色	: 白色
臭い	: 無臭
分子量	: 241.4
比重	: 2.39
pH	: データなし
融点	: 100℃(分解)、180℃(無水物)
沸点	: データなし
潮解性	: データなし
引火点	: データなし
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重(相対密度)	: 2.398g/cm ³

溶解度	:45.125g/100g水 1g/0.9ml水 エーテル、グリセリン、プロピレングリコールに可溶
オクタノール/水分配係数	:データなし
自然発火温度	:データなし
分解温度	:100℃

10. 安定性及び反応性

安定性	:潮解性がある。 加熱により、有毒ガスが発生する。
反応性	:無水物結晶は水と激しく反応して、熱及び白色で煙霧状の刺激性かつ腐食性の塩化水素を生成する。 強酸と反応する。 水分の存在下においては大部分の金属を腐食する。
危険有害反応可能性	
避けるべき条件	:加熱、水、空気、混触危険物質との接触。
混触危険物	:強酸
危険有害な生成物	:塩化水素

11. 有害性情報

急性毒性	:経口; LD50(ラット) 3,311mg/kg 経皮;データなし 吸入(粉じん);データなし 飲み込むと有害のおそれ(区分5)。
皮膚腐食性・刺激性	:ヒトの皮膚に間欠的に3日間適用により、軽度刺激性が認められている。 また12人の症候性発汗症の患者に4週間局所適用による治療効果を調べた試験で、刺激性を認めた4人のうち3人は投与継続のまま1週間後に症状が消失したが、残りの1人は重度なため投与中止された。以上のことから、皮膚に対し刺激性があると考えられるので区分2とした。 皮膚刺激(区分2)
眼に対する重篤な影響・刺激性	:データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性	:データなし
皮膚感作性	:データなし
生殖細胞変異原性	:データなし
発がん性	:データなし
生殖毒性	:データなし
特定標的臓器・全身毒性	
(単回曝露)	:データなし
(反復曝露)	:データなし
吸引性呼吸器有害性	:データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	:魚類(太平洋サケ)LC50(96h)=0.671mg/l 水生生物に非常に強い毒性(区分1)
その他	:漏洩・廃棄などの際は、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
残留性・分解性	:データなし
生体蓄積性	:データなし
土壌中の移動性	:データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

:廃棄方法に関する法律並びに関係法令に従って処理を行なう。
大量の水で希釈し廃棄する(水溶液は酸性を呈する)。

汚染容器及び包装

:紙袋は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行なう。
空紙袋を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連分類

:クラス8

国連番号

:1759

国連輸送名

:その他の腐食性物質

容器等級

:PGIII

海洋汚染物質

:該当なし

日本国内での規制情報

:労働安全衛生法、船舶安全法、航空法それぞれの該当法律に定められた
運送に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法

:名称等を通知すべき有害物(第57条の2)

船舶安全法

:腐食性物質

航空法

:腐食性物質

16. その他の情報

引用文献

:製品安全データシート「塩化アルミ」安全衛生情報センター2006

記載の取扱い

:全ての情報や文献を調査したわけではないため情報もれがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。記載内容のうち、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意願います。

製品の譲渡時にはSDSを添付して下さい。

SDSに関するお問い合わせ先

:営業部営業課

Tel:0144-55-3788

Tel:0144-55-3788

Fax:0144-55-1193